

1. 遺跡名 早川石切丁場群
(はやかわいしきりちょうばぐん)

2. 所在地 小田原市早川

3. 時代 近世

4. 調査概要

江戸時代初期、江戸城もしくは小田原城改築の折、石垣材としてこの辺りの安山岩を切り出した切石場（石切丁場）の痕跡が広がっています。

遺跡には、切り出して山のふもとへ下ろす途中放棄した切石、切り出された残りの石、切り出して形を整える際に石屑として捨てられた剥片類などの残されたモノがあり、その性格は色々です。

調査環境としては標高 180m～250m の山肌にある石を捜す状況でした。

調査の結果、切出し痕（矢穴）のある石が多数発見され、中には刻印がなされているものも見つかりました。切石作業の担い手も特定できるかもしれません。



遺跡の位置



作業状況



矢穴(切り出し痕)



刻 印